

## 次期（第6次）国立大学法人等施設整備計画策定に向けた中間まとめ （骨子案）

以下の骨子案について、赤字は記載方針、  
網掛け文字は協力者会議の下に設置したワーキング・グループ  
（WG①：共創拠点化の推進に関する WG、WG②：戦略的な施設マネジメントに関する WG）  
で整理する項目を示している。

### はじめに

#### 第1章 国立大学法人等に求められる役割と方向性等

・本章では、近年の国立大学法人等を取り巻く社会情勢の急速な変化を踏まえ、高等教育や科学技術政策の方向性を取りまとめた各種答申や報告書等で示されている、施設整備に関連する国立大学法人等に求められる役割と方向性について、整理することとする。

##### 1. 国立大学法人等を取り巻く状況

- ・ 少子高齢化社会に伴う生産年齢人口の減少、DX や地球温暖化対策などの社会の変化への対応
  - ・ グローバル化の進展に伴う競争の激化
  - ・ 頻発する大規模自然災害への対応
- など

##### 2. 国立大学法人等の役割

##### 3. 国立大学法人等の方向性

## 第2章 国立大学法人等の施設に求められる役割と方向性

・本章では、第5次国立大学法人等施設整備5か年計画で提示したイノベーション・コモンズ（共創拠点）の実現に向けて、「国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議」（主査：西尾章治郎 大阪大学総長）で取りまとめられた第1次・第2次報告書等で示された国立大学法人等の施設に求められる役割と施設整備の方向性について、直近の議論を整理することとする。

### 1. 「国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議」において示された内容

（1）国立大学等キャンパス・施設の目指すべき方向性

（2）「イノベーション・コモンズ」の考え方と取組のポイント

（3）「イノベーション・コモンズ」実現に向けたキャンパス・施設等の整備の考え方

①（共通事項）デジタル技術も駆使したハイブリッド型環境の整備

②（重点事項）成長分野等の社会課題に対応した人材育成・研究を支える環境

③（重点事項）地域を中心とした産学官連携強化による人材育成を支える環境整備

④（重点事項）多様な主体に開かれた魅力ある環境

⑤（重点事項）グローバル化に対応した国際競争力のある環境整備

（4）今後の推進方策

① 国が取り組むべき方策

② 国立大学等が取り組むべき方策

③ 地方公共団体・産業界に期待される方策

### 2. その他近年の国立大学法人等を取り巻く状況を踏まえた方向性

・「第2章1「国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議」において示された内容」で示された国立大学法人等の施設整備の方向性の他に、「第1章 国立大学法人等に求められる役割と方向性等」で整理した近年の国立大学法人等を取り巻く状況を踏まえた国立大学法人等の施設整備の方向性について、整理する。

### 第3章 「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画」の取組状況

・本章では、現行5か年計画について、

- (1) 整備内容（老朽改善整備・ライフライン更新、新增築整備、附属病院整備）についての検証（進捗状況の評価（効果の把握を含む）や将来需要の推計と対応策等）、整備による「イノベーション・commons」への転換（共創拠点化）についての検証（評価手法・指標の検討（効果の把握を含む）や共創拠点化を支える体制や仕組み等）
- (2) 戦略的な施設マネジメントへの取組についての検証（取組状況の評価（財源の多様化、全学的体制の強化、適切な維持管理、カーボンニュートラル等））

を行い、整理することとする。

#### 1. 第5次国立大学法人等施設整備5か年計画の概要

#### 2. 整備目標（基本的な考え方、整備内容）の取組状況（WG①）

##### (1) 「イノベーション・commons」への転換

- ・共創拠点化の効果を示すため、個別事業毎に評価指標を設定し、調査及び評価を行う。

##### (2) 老朽改善整備・ライフライン更新

##### (3) 新增築整備

##### (4) 大学附属病院整備

#### 3. 実施方針の取組状況（WG②）

##### (1) 文部科学省の取組

- ① 必要な予算の確保
- ② 高等教育・科学技術政策等との連携推進
- ③ 長寿命化に向けた取組の推進
- ④ 多様な財源の活用推進
- ⑤ 地方公共団体や産業界を含む社会全体に対する理解増進

##### (2) 国立大学法人等の取組

###### ① 戦略的な施設整備

※施設の総量の最適化、スペースの適切な配分、長寿命化、必要な財源の確保、個別施設計画の見直し

###### ② 施設マネジメントの更なる推進

※全学的体制の強化、施設情報の見える化、適切な維持管理、省エネルギーの推進

③ 多様な財源の活用

④ 地方公共団体や産業界との連携

#### 第4章 地域と共に発展する共創拠点の実装化に向けた課題と方向性

・本章では、「第1章 国立大学法人等に求められる役割と方向性等」で整理した、高等教育や科学技術政策の方向性に関する各種答申や報告書等で示されている近年の政府全体における議論や、「第2章 国立大学法人等の施設に求められる役割と方向性」で整理した、国立大学法人等の施設に求められる役割と施設整備の方向性などを踏まえ、次期5か年計画に向けた論点を以下の通り整理することとする。

##### (1) ソフト・ハード一体となったキャンパス全体の共創拠点化の更なる推進 (WG①)

○将来の社会変革を見据えた共創拠点の整備

○研究開発のニーズに機動的に取り組み続けられる共創拠点の整備等

##### (2) キャンパス全体の強靱化（地域の防災拠点としての国立大学等）

○激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震等への対策に資する共創拠点の整備

・「第3章2 (1) 「イノベーション・コモンズ」への転換」で実施した調査を基に、共創拠点の実装化に向けた課題と方向性を整理する。

##### (3) 施設整備に活用できる予算の拡大などの財源の多様化 (WG②)

##### (4) 持続可能な維持管理の観点も含めた適切な施設マネジメント (WG②)

##### (5) 附属病院の機能強化

・国立大学附属病院については、第3回協力者会議における有識者による発表を踏まえ、共創拠点の実装化に向けた課題と方向性を整理する。

##### (6) 国立高等専門学校機能強化

・国立高等専門学校については、第3回協力者会議における有識者による発表を踏まえ、共創拠点の実装化に向けた課題と方向性を整理する。

## 第5章 地域と共に発展する共創拠点の実装化に向けた整備目標等

・本章では、「第3章2（1）「イノベーション・commons」への転換」で示した共創拠点化の効果を踏まえ、次期5か年計画において共創拠点の実装化を推進するため、第3章で検証した現行5か年計画の進捗状況も踏まえた次期5か年計画の整備目標等（将来需要の推計と対応策等）を整理することとする。

### 1. 戦略的な施設整備（トリアージ、有効活用、戦略的リノベーション）

（WG②）

### 2. 施設マネジメントの推進（全学的体制、見える化、維持管理、CN）

（WG②）

### 3. 次期5か年計画における整備目標（WG①）

（1）安全・安心の確保と機能向上（老朽改善整備）

（2）キャンパスのレジリエンス確保（ライフライン更新）

（3）新たな教育研究ニーズに対応するためのスペース確保（新增築整備）

（4）先端医療・地域医療を支える病院の機能強化（大学附属病院整備）

（5）次期5か年計画の整備目標

### 4. 多様な財源の活用促進（国立大学等における多様な財源確保のための方策等、運用改善・事例の周知）（WG②）

## 第6章 最終報告書に向けた検討事項

・本章では、中間まとめで積み残した又は来年度より具体的な検討が必要な事項について、整理することとする。